WHX Osaka
Formerly **Japan Health**

Dr. Maria Lourdes K. Otayza

会社・団体名

The Philippine Hospital Association

役職　President

🌐 **Location**　フィリピン

プロフィール

Dr. Maria Lourdes K. Otayzaは、マリアノ・マルコス記念病院医療センターの医療センター長IIであり、フィリピン病院協会（PHA）の会長を務めています。また、第1地域保健研究開発コンソーシアム（R1HRDC）のプロジェクトリーダー、およびフィリピン国立保健研究システム研究アジェンダ管理委員会（PNHRS-RAMC）の委員長も務めています。フィリピン産婦人科学会およびフィリピン母体胎児医学会のフェローであり、医療行政および研究分野における著名なリーダーです。チューレーン大学のヒューバート・H・ハンフリー災害対策・公衆衛生政策フェローでもあります。オタイザ医師は、優秀フィリピン人医師賞（2021年）、PFPAエクシード賞（2023年）、ガワドCES賞（2017年）など、数々の賞を受賞しています。彼女はキャリア上級職員（CESO）V級として、医療分野におけるリーダーシップ、研究、公共サービスにおいて卓越性を追求し続けている。

組織紹介

マリアノ・マルコス記念病院医療センター（MMMH&MC）
フィリピン、イロコス・ノルテ州バタック市に位置するMMMH&MCは、人を中心とした医療、医学教育、倫理的な研究に尽力する政府立の三次医療機関です。北ルソン地方における主要な紹介センターとして、地域社会に対し、安全でアクセスしやすく、迅速かつ効率的で公平な医療サービスを提供しています。
2031年までに世界的に認知される医療機関となるというビジョンに基づき、MMMH&MCは誠実さ、卓越性、そして思いやりをもって質の高い公共サービスを推進しています。当病院は、組織的なリーダーシップと革新性において国内外から高い評価を受けており、2025年度国際病院連盟（IHF）リーダーシップ・マネジメント賞でゴールド賞を受賞、2024年度IHFセディキ・ホールディング・エクセレンス賞（社会・環境責任部門）を受賞、さらにアジア連帯研究所（ISIA）より、優れたガバナンスの拠点として認定され、パフォーマンス・ガバナンス・システムの制度化段階においてゴールド・トレイルブレイザー賞を受賞しています。